

放課後等デイサービス自己評価表 集計および施設内会議結果					施設名: アプリ児童デイサービス高島平	
自己評価実施職員数:10人					検討会議実施日: 令和2年1月31日	
チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	改善を要する点の有無 施設内会議での意見	
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	2	7	1	基準は満たしていても、クールダウン用の部屋やしっかりとしたパーテーションで区切るなどの必要性を感じる。別の部屋は現在規定で使用できる最大㎡数を使った訓練室なので難しいパーテーションに関しては多動な児童が多い状況の中での見守りが難しくなってしまう。	
	② 職員の配置数は適切であるか	2	6	2	きつい時も、たまにある。他児童が多い時等。配置や送迎などの改善策を考えていく。	
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	3	1	玄関に4段の階段(電子椅子設置)、トイレに入る際の1段の段差がある。身体的にハンディキャップがあるご利用者はいないが、この点はしっかり注意する。	
業務改善	④ 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6	3	1	職員会議だけでなく、その都度伝達確認(報告連絡相談)の精度を高めることで更に仕事し易く、児童、職員にとって過ごしやすい場。また支援のしやすい環境を作っていく。	
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	3	0	今回は保護者向けアンケートを実施している。	
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	4	1	現在施設発信のブログはプライバシーの保護の理由で休止している。	
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	3	2		
適切な 支援の 提供	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8	2	0	職員全体の職員会議の定例実施、研修を行っている。不参加の職員には議事録に目を通してもらい、全員が捺印する流れができていく。	
	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	9	1	0	各児童、半年に1回のサイクルで保護者様に対するアセスメント(面談)を実施している。アセスメント後の職員検討会一別支援計画書作成の流れは変わっていない。	
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7	3	0	当事業所に即したフォーマットを使用しており、今のところ問題はない。	
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	5	1	社員の話し合いはもちろん、更に全員がチームメンバーであることを意識できるよう、始業前ミーティング等で打ち合わせをしていく	
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	4	0	工夫しているが、現状では外出レクなどができにくかったりプログラムに制限が出ている。社員だけでなく、パート職員さんにもアイデアを出してもらい、活性化したプログラムになるよう改善していく。	
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	5	0	計画を早めに立てるとするのが課題。全職員で話し、支援のイメージが楽しくなるような環境を作っていく。	
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	4	0	個別支援計画書を軸に、各職員が支援の方向性と、その具体的な方法を理解して勤務に当たれるように努めていく。	
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9	1	0	始業前ミーティングが情報伝達の場になっているので、同様のミーティングを今後も行っていく。	
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	6	0	打ち合わせが翌日の朝になることが多く、いない職員がいたりでしっかりと共有には課題が残る。終業時間の関係もあり終礼は行ってないが、これを補うために報告、連絡ノートへの記入をしっかりと行っていく。翌日のミーティング、書き起こしたものをしっかりと確認できるようにすることで連絡ミスをなくしていく。	
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	4	0	施設保管書類のご家庭との連絡ノートがその役割となっている。保管するだけでなく、毎日の記録を見てもらう機会を作っていく。	
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	9	1	0	児童発達支援管理責任者が行っているアセスメントがこれに当たる。他職員からの意見も取り込みながら、さらに良い支援ができるようにしていく。	
	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	7	3	0	ガイドラインの配布は入社時に行っているが、その後は定期的になっていないため、改めてその時間が作れるようにしていく。	
	関係機関 や保護者 との連携	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8	2	0	児童発達支援管理責任者の職務として対応している。
		㉑ 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	4	5	1	ミスが無いよう、今後も更に工夫が必要だと感じている。学校により、施設への情報提供はご家族様を通してのみ限定しているところも多い状況。インプット、アウトプットミスについては、改めてどのようなやり方が更に適しているか検討する必要がある。
		㉒ 医療的ケアが必要な子供を受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3	5	1	医療的ケアが必要な子どもはいない。医療機関と提携が必要となる児童を受け入れる際には、しっかり連絡体制を作る。
㉓ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		4	5	1	本年度の新規ご利用児童はなし。新規ご利用児童があった際にはご家族様に確認をする。	
㉔ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		6	3	0	こちらから積極的には行ってないが、依頼があれば行える。卒業後の進路により異なるが、必要を要する場合はご家族様に確認した上で情報提供を行う。	
㉕ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		7	2	0	板橋区事業所連絡会にて専門職員からのお話を聞く機会がある。	
㉖ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		3	3	4	地域の行事に参加することはできない状況。ただ、「できない」と決め切らずに行う方向を模索することも必要。	
㉗ (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		4	2	3	連絡会の内容については職員ミーティングの際に伝達する形になっている。	
㉘ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか		7	2	1	アセスメント、送迎時にしっかりとご家族様とコンタクトを取っている。今後も沢山お話することで当施設、支援、及び利用時の状況についての理解を深めて頂く。	

	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	6	3	1	面談は行っているが“ペアレントトレーニング”の実施には至っていない。施設の状態を顧みつつ、状況に応じて判断していく。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7	3	0	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8	2	0	面談、送迎時にお話しさせてもらっている。相談がある場合はその都度対応させてもらう。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	4	3	現状では、全日営業及びタイムスケジュールを含む施設の運営形態からなかなか行うことができていないのが、内外共に落ち着いた状態になったら改めて検討する。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	3	0	苦情の受付は送迎時、連絡ノート、また、契約時に苦情窓口の説明を行っている。他害等の事故があった場合は先方のご都合、会社の判断によってできる限り早く、適切な対応を行っていく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3	5	2	ブログが停止中にて、連絡ノートやイベント告知で状況を伝えさせて頂いている。
	35	個人情報に十分注意しているか	9	1	0	現状十分に注意しているが、今後も最重要なものだという認識を持ち、流出しないことを徹底する。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8	2	0	ご家族様には利用児童に対してのできる限りの情報発信は行っている。児童に対しても同じ目線を持つこと、また、客観的に状況を判断することを改めて認識できるよう会議の議事に取り入れる。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	5	2	地元の絵本読み聞かせボランティアさんに来所頂いていたが、今後も新たに地域に根付いた施設になるよう努力する。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	5	1	保護者にはしていない。職員会議で様々な議題を行っているので、周知面を改めて検討する。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8	2	0	定期的な避難訓練は実施できている。この点も周知面を改めて検討する。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9	1	0	虐待防止委員会は定例で行っている。今後も同様に行っていく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、総論的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	8	2	0	身体拘束が必要な可能性がある児童については、個別支援計画書内に身体拘束に関する一文を必ず記入し、ご家族様の署名、捺印にて同意を頂いている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7	3	0	医師ではなく、アセスメント時にご家族様に確認し、各職員にしっかり理解できるように職員連絡ノートに記載(捺印)することで事故が起きないように周知しているが、改めて全員に周知する。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9	1	0	活発に行っている。各職員がしっかりと目を光らせ、危険な状況、状態を報告してもらっている。

保護者向けアンケートをふまえての改善点・意見など

【保護者アンケートを受けて】

- ・ご家族様からは施設に対して概ね良い印象を持たれているが、避難訓練や行事についての周知が足りていなかったことが数字で表れている。この点を留意してしっかり認識に繋げるよう行動を起こしていく。
- ・外出に関しての要望が高いので、児童特性、職員体制を踏まえた上で、事故リスクのない外出計画を立てていく。
- ・児童に、ご家族様に誠実に向き合い、しっかりとコンタクトを取っていく。

【自己評価表を受けて】

- ・各項目において「どちらともいえない」「いいえ」が増えている。児童特性、職員配置が変わったことが大きな要因だと思われるが、あやふやになってしまっている点は非常に良くないので、説明する機会を職員会議で確実に作り、不参加者にもしっかり把握できるよう、議事録確認も改めて徹底する。
- ・「チーム」としての認識が不足している様子も数字から読み取れる。連携が大変重要な仕事なので、フロアの空気をどう作るかを社員は改めて考える必要がある。
- ・更に楽しく、また、児童の将来を見越した支援や取り組みを全職員で共有できるようにする手段を考え、実施していきたい。
- ・皆が施設を作っているという実感が持てるようしっかりと意見を取り入れられる環境を作る必要があると感じる。